

【愛知・静岡】マインシン(辻直樹社長、愛知県豊橋市)の浜松営業所はこのほど、外部講師による日常点検講習会を実施した。

受講者は従業員全員が対象で、市内のホウエイ自動車工業から講師として整備士ら2人を招き、同内容を2日に分けて実施。乗務員や管理者、事務職員がプロからトラックの構造を学び、点検整備の重要性を再認識する機会とした。

講習では、キャビンを持ち上げてエ

ンジンルーム内をチェックし、ベルトの張り方などを確認。また、タイヤホイールのナットを緩ませておき、実際にハンマーで叩いて緩みに気付けるかを一人ひとりが体験した。

マイシン浜松営業所

外部講師による日常点検講習会



講習の様子

乗務員の教育を担当する川野勝也次長は、講習の中で一般道・高速道それぞれにおける車両故障の発生状況について、資料をもとに説明。「日常点検がしっかりとできていれば防げる項目ばかり。出発前にきちんと見ておくことで自分の身を守り、お客様に迷惑をかけることもなくなる」と伝えた。

プロの手を借りての点検講習は初の試みだったが、「新人さんにとっては理解を深める良い機会になり、ベテラン組にとっては我流の見直しができた」と川野次長。今回の内容をブラッシュアップして、次回以降の実施につなげていく考えを示している。